富士市のごみを考える会通信2021年初夏号

発行:NPO 法人富士市のごみを考える会　2021 年初夏号
理事長　：　小川　浩
事務所　：　富士市大淵 27 番地の 6(小野宅)
TEL fax：　0545-35-2439　mail：fujigomizero`me.com

2020 年 12 月には、ふじさんエコトピアの展示コーナーに、皆で協力して作ったごみゴジラ「金さん、銀さんん」とゴジラの赤ちゃんも誕生しました。

　石倉理事は、赤ちゃんゴジラの誕生を最後に、ご夫婦のご実家にご家族で引っ越されました。

　石倉理事、いままでごみを考える会を支えてくださってありがとうございました。

- 2021 年 2 月 7 日「生ごみ資源化講座」をふじさんエコトピアで開催しました。青葉台地区ごみマイスターと富士市のごみを考える会のコラボ事業です。

　ふじさんエコトピアも協賛。燃やすゴミ袋の中から、生ごみがなくなれば、30%の燃やすゴミがなくなり、ゴミ袋がとても軽くなります♪♪♪生ごみを土に返すことで地球の循環に参加できます^^

　富士山とごみとわたしの紙芝居も好評でした。その後、ごみの勉強を行い、皆で富士市のごみの現状を学びました。

　いいことずくめの生ごみ資源化講座、参加しませんか？

士ニュース　昭和21年11月15日 第３種郵便物認可　第22395号　（2）

生ごみたい肥の作り方紹介

エコトピアで資源化講座

NPO法人富士市ごみを考える会と青葉台地区ごみマイスターは7日、「生ごみ資源化講座」を大淵の市新環境クリーンセンター循環啓発棟・修理再生施設ふじさんエコトピアで開催した。

13人が参加する中、マイクロプラスチックに関する紙芝居の上演や昨年同NPOとボランティアが取り組んだごみの組成分析の結果報告、生ごみたい肥の作り方の実践などを繰り広げた。

生ごみたい肥の作り方の実践では、参加者が持参したこの日の朝食時に出た生ごみと、有機物を発酵させた「EMぼかし」を使用。バケツの中にEMぼかしと水を切った生ごみを交互に入れていき、空気が入らないように上から押し、バケツのふたをしめてからさらに空気を抜くーという作業の手順を紹介した。

このうち特にポイントとなるのは、生ごみの水分をしっかりと切ること、空気をできる限り入れないことなどだとし、空気を抜く理

たい肥作りの手順について解説

作業に挑戦する参加者たち

講座の様子は、富士ニュースと岳南朝日新聞に大きく取り上げられました。

皆さんに関心を持ってもらいたいです。

講座の際には毎回行っている「富士山とごみとわたしPART4」は、とても好評です。平田理事の朗読が素敵です。

- 3月28日午後1時から、小学校6年生を対象に「小学校卒業おめでとう！新環境クリーンセンター見学会」を行いました。参加者はそんなに多くなかったけれど楽しい会ができました。中学校に行ってからも多くの学びの中に、環境への眼差しが加わると嬉しいです。これからの地球をよろしくお願いいたします

- 4 月 24 日(土)富士市新環境クリーンセンター循環啓発棟(ふじさんエコトピア・ふじかぐやの湯)で「流木でタペストリーを作ろう」を行いました。
  田子ノ浦海岸へ流木拾いから始まり、貝殻やシーガラスを探しての企画、素敵なご家族がたくさん参加してくださり、素敵な自分だけのタペストリーがたくさんできました。 皆さんとっても素敵な作品に仕上がりました。

お知らせ

※ 5 月 20 日号の広報ふじに、流木アート講座の様子が掲載されます。ご覧ください。

※ 流木アートの講座は、8 月 12 月にも予定しておりましたが、新型コロナウィルスのまん延状況をかんがみ、しばらく様子を見ることにしました。

※ もったいない音楽会をはじめ、木工工作・凧作り・生ごみ資源化講座・竹皮細工等々の講座も予定しておりましたが、やはり新型コロナウィルスの変移種が出回り始めたことを鑑み、ワクチン接種の様子を見て開催することとします。

※ ふじさんエコトピアでのコロナワクチン接種予約は、6 月上旬から始まります。どうか慌てることなく、お近くの会場で安心して摂取できるよう余裕を持ってお待ちください。

※ 総会は書面総会となります。返信のおはがきよろしくお願いします。状況が落ち着きましたら、もったいない音楽会及び講座を開催したいと思います。